

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念の3本柱は、1. 能力に応じた自立支援 2. 尊厳と権利の保持 3. 地域の中で暮らしを継続である。毎朝、申し送り前に声に出し、目に届く場所に掲げ、絶えず意識できるように実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	入居されたら、GHの中だけの生活に留まることがないように、地域の「シルバーサロン」に参加したり、近所への買い物や喫茶店出かけたりをコロナ前に実施していたことを再開しつつある。	コロナの影響で中止になっていた「シルバーサロン」が再開している。今後は積極的に「シルバーサロン」に参加したり、幼保園との交流を増やしていく。散歩はしているが、買い物など外出の機会を増やしていく。		<ul style="list-style-type: none"> ・交流機会が増えることを願っています。 ・体調の良い時には外に出て地域のようすなど見られたら気分が晴れてよいと思う。 ・散歩に行ったりすることは、たびたび職員の方から聞くが買物等は聞いていない。大変だと思うができれば外出させてほしい。 ・コロナ以前は地域の活動に参加していたため、感染状況をみながら地域住民サロンなどの交流が戻るとよい。 ・シルバーサロンに参加していただいている方々が皆さんやさしい顔をしてみえるので日々楽しい生活を送っておられるのですね。 ・従前の活動再開を願う。生徒児童幼稚園児の訪問が喜ばしい⇒(教師との協議できないか)
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会長、民生委員、家族などに議事録とともに、意見書をお渡し、意見を記入する欄を設け、毎回、頂いた意見を参考に、サービス向上に委員会やミーティングを通じて活かしている。	対面での会議が開催されるようになり、地域の方やご家族の意見を直接聞くことができて良かった。今後も対面での会議を開催していく。		<ul style="list-style-type: none"> ・書面会議で利用者の状況が把握できた。対面で開催できれば直接生の意見を聞けるようになる。 ・コロナ前には定期的に会議が開かれ、地域の方等の話が聞けたり、他の入居者の家族と顔を合わせて意見を聞ける機会があつてよかった。また続けてほしい。 ・意見を聞いたり、話をする場があることはありがたいと思っている。 ・大変ですが、これからも宜しくお願いします。 ・(防災) 図上防災訓練を社協に申し込む。

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営上分からない事や、制度の内容の指導などが疑問を持った時など、市町村担当者に、その都度、電話直接窓口まで出向いて行き、指導助言を頂き、取り組んでいる。	市の地域サポート体制の話だけでなく、市の現状の話を聞く機会を作るようにしていく。		・地域包括支援センターには事業所の取り組みを報告されており必要に応じて市町村とも協力関係を築いている。 ・バス使用の外出支援の行事など、市としても行事にできないか。社会福祉協議会の行事の一つに加えてほしい、又は資金補助。グループホームへの災害時対応の方策を社協に求む。 ・お忙しい中ご苦勞様です。 ・しっかりした体制が作られていることは安心です。 ・市の高齢福祉課の方の地域サポート体制の話は聞けたが、たまには市の現状など聞けるとよい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束は行っていない。認知症の症状により身体拘束の3原則に照らし合わせ他に対応する事がないのか十分に話し合っている。施錠は防犯上の理由から AM7:00~PM5:30 に施錠しているが昼間の時間は開放してる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止指針を作成し、虐待の芽やグレーゾーンの不適切なケアについてスタッフ全員が研修受け、虐待に繋がることを見つけた時は、必ず声を出して、十分に話し合うよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ZOOMなどで研修を受けた職員が伝達講習を行っている。講習会に参加できなかった職員に関しては、報告書にて確認してもらい周知徹底している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は充分時間をかけ、質問を聞きながらすすめている。又、加算の変更や料金に関する事柄は、その都度、書面にて説明し同意を得るようにしている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の議事録に意見書をつけ、ご家族、自治会役員、地域包括の方々にも意見、助言をいただくようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課制度での個人面談を年2回導入しており、中間期、キャリアコンサルタントの資格を持つ所長と個人面談、年度末には法人代表者及び管理者を含め、複数の人数で面談を行い、小規模である強みを活かきめ細やかに職員の意見を反映させるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員評価基準を設け、月単位、半期ごとに集計、評価することで、賞与、昇給に反映できるようにしている。又、個々の家族状況や急な体調変化に対しても変更、有給消化できるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新人職員が入った時は、ステップアップシートを使い、教える側の職員がどこまで進んでいるか情報共有できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の事業所の代表者や管理者がメンバーとなり、人材育成のコミュニティーを主宰し、毎月開催している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に施設での様子などを伝えたり、家に居た頃の情報を聞き、本人にとってより良い生活が得られるよう協力していただいている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出できる時間や面会できる時間をコロナ感染の状況に合わせて、その都度見直し、少しでも関わりが持てるようにしている。	面会室に行くウッドデッキが劣化していて車椅子の方は使用できない状態である。ウッドデッキの修理の方向を早急に打ち出したい。コロナ、インフルエンザの感染状況をみながら、ご家族様との面会、外出を検討していく。		・外出や面会等事前に連絡していつも準備していただきありがたい。会議でも話したが面会室を利用できるようにしてほしい。5～10分程度の面会なら玄関先で今まで通りでよいです。

							<ul style="list-style-type: none"> ・本人の記憶が曖昧になっているので不安に思うことの方が多いが、今を大切に生活できるように家族も声かけしていきたいと考えている。 ・こちらも協力してお話をしたり、面会に行くように努力します。 ・家族とか出合いを行いたい。外出、面会の調整を。 ・地域の人とかかかわりがない。 ・利用者様についての情報をご家族や思い出の品から聞き取りをされている。今後は感染症の状況に合わせて外出など関わりを続けていけるとよい。
--	--	--	--	--	--	--	---

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	会話をしながら、一緒に活動をしたり、関わりを持つ中で、本人様の表情や発言を情報共有し、ユニットミーティングなどで検討している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	ご家族が来所された時や電話で、普段の様子などお伝えし、ご家族の思いや要望などを聞くように心がけている。ご家族のサービス担当者会議参加までは至っていない。ユニットミーティング(サービス担当者会議)にて、それを共有し、話し合い、ケア計画を作成している。	感染症が落ち着いたら、電話や面会時に様子を伝えるだけでなく、ご家族のサービス担当者会議への参加を考えていく。	<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の流行状況が落ち着きましたら、サービス担当者会議へご家族にも参加して頂き、よりその人らしいプランになるようプラン作成できるとよい。 ・ケア計画を拝見する限り十分にやっていると感じています。 ・面会場所 当人居室で語る、茶菓? ・電話で連絡をもらったり、職員の人々と気軽に会話でき、状況など話してもらい。こちらの思いも伝えるようにしている。 ・面会時に母のようすなど教えていただけるのが嬉しい。本人との会話が通じない時にもやさしく伝えてもらっているようなのでこちらの気持ちを話しやすく感じている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	朝夕の申し送り時、タブレット入力記録した内容について確認し合い、次の実践へと介護計画の見直しに役立っている。		<ul style="list-style-type: none"> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	飲み込みなど本人の状態を主治医に相談、歯科医を紹介していただき口腔指導を行ってもらっている。	病院や薬のことなどもきちんと伝えられている。継続していく。日々の暮らし向きについて、今以上にご家族に報告できるように努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や薬のことなどもきちんと伝えられている。母ができなくなってきた事が多くなるのは家族としてはショックだが、それ以上に母の為に良い日々を考えてアドバイスしてもらるのがありがたい。 ・訪問医療、歯科、皮膚科、リハビリ等利用するようになり年末の入院から、とても心身とも状態がよくなり、寝ていることがなくなり、表情もよくなりありがたく思っています。もっと早く利用できていたらとも思っています。 ・自宅にいる時より充分ケアされているようです。 ・利用者やその家族の状況に応じ、家族の代わりに受診に付き添う等柔軟な支援が行われている。嚥下ケア、口腔ケア等とても生活の質の向上のために大事なことなので、これからも続けていけるとよい。 ・当人の日々の暮らし向きが知りたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	万石で「シルバーサロン」が再開され、以前のように参加のお声がけをいただき、住民の方と交流が始まった。また、ホーム内での職員のみで支援するだけではなく、自費介護サービスや医療保険サービスにも目をむけ地域資源は何があるのかを把握に心がけたい。	「シルバーサロン」へ積極的に参加をし、幼保園との交流も感染状況を考えながら少しずつ再開していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・宜しく願い致します。 ・コロナ禍でサロン活動など休止のところも多かったが100円喫茶など少しずつ再開されている。地域資源把握し、参加の機会をつくり楽しさを広げていけるとよい。 ・手品などのリクレーションのボランティアの協力を求む。 ・「シルバーサロン」に行くことができたらどんな母の姿が見られるのか、不安もあるが楽しみもある。 ・ひ孫とのかかわりをとても楽しんでいたので難しいかもしれないが、保育園の見学、フェンスごしに見るための散歩などできたらよいと思う。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人と家族の希望に沿ってこれまで雇っていたかかりつけ医との関係性を絶やさないようにしている。通院が困難となった場合は、複数の往診医から選択していただき決定し、継続し		

				て医療を受けられるように連携を密にし、情報共有するようしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	病院と施設のキーパーソンを設け、情報を提供してもらい退院近くなったらカンファレンスを開き、必要なケア、道具などを揃えるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調が変化した時、家族に報告し、どのように過ごしていきたいかなど話し合っている。職員内で情報共有し支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍でできなかった各訓練を再開し、オンラインにて急変時対応研修継続して、対応に備えている。医療感染委員会のメンバーが中心となり、ミーティングで状態変化の救急対応などの内部研修を行うことや、救急車要請時に、救急隊に速やかに情報提供できる情報提供書を常に書き換え、職員へ周知している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法定訓練回数以上に、火災訓練(消火、通報、避難)災害訓練(水害、夜間、地震)など想定を変えて1年に4回、定期的に行っている。	年4回の訓練の中に災害・感染症のBCP訓練も入れ込み、マンネリ化した訓練にならないようにしていく。また、協力施設との合同訓練、視察を予定している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・宜しくお願いします。 ・災害は予告もなしに突然おこるため、訓練は評価で繰り返し行っていけるとよい。住民参加につなげていけるとよい。 ・市との連携(水+食料など)グループホームと家族のマニュアル訓練をみたい。 ・非常口があることを知りませんでした。(気がつかなかったのかもしれませんが) ※非常時の対応等書面で知らせてほしいと思います。 ※ホームの前の道が冠水しやすいので対策ができればと思います。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者や職員間での会話などで注意すべき対応は「虐待防止委員会」で中心に話し合いをしている。また、言葉遣いや対応をその都度見直しできるような合言葉を目に届く場所に掲げ意識づけを行っている。スタッフ全員はオンラインでの虐待防止研修、プライバシー保護研修を受講している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯たたみや職員と散歩したり、一緒にテレビを観て感想を言い合ったりしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おやつ作りを企画し、それぞれの入居者様が得意なことを活かせるよう促しや支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お茶があまり好きではない入居者様にはジュースを提供するなど、その方に応じた水分摂取ができるようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔衛生士にアドバイスを頂きながら、チェックポイントに気を付けてケアや見守りをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の状況を確認し、今のパットやオムツの使用が合っているかをオムツ委員を中心に検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の予定を相談し、希望を聞いて調整できるようにしている。気分に合わせて湯場を変えたりしている。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の状況を見て、眠くなるまで 好きなお笑い番組を夜勤者と一緒 に見て一緒に楽しんでいる。また、 眠れなくて、何度もトイレやリビ ングを 行き来する方には、一緒に寄り添 い 安心してもらうような対応をして いる。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬状況について、申し送り、記 録 記入を行い情報共有している。変 更 された時にはその後の状態観察 や、 主治医への報告を行っている。薬 剤 情報は職員がすぐに確認できる 場 所にファイルしてあるので、手 に とって確認できている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過ご せる ように、一人ひとりの生活歴や力 を 活かした役割、嗜好品、楽しみご と、 気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	計算ドリルをする方、散歩が好き な 方、掃除などの家事が好きの方 そ れぞれの生活歴や得意なことを 活 かすことや、歌や体を動かすこ と、 会話な そその方の楽しみ事に合わせて 支 援している。	ご本人のできることを、楽しみに し て いる事を考えながらの支援を 継 続して いく。		<ul style="list-style-type: none"> ・まだできることは当人にやらせたい ・お世話がけませんが宜しくお願い致します。 ・ご本人の強みを活かした取り組みを続けていけるとよい。喜びや楽しみのある生活を送っていけるとよい。 ・本人は以前童謡コーラス部にいて、本ももって一人でも歌っていたので歌を歌うことが日常的にあるとよいと思う。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそ つ て、戸外に出かけられるよう支 援 に努めている。また、普段は行 け ないような場所でも、本人の希 望 を把握し、家族や地域の人々と 協 力しながら出かけられるよう に 支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	天気の良い日は、ホーム周辺の 農 道の散歩、近所のドラッグストア に 買い物に出かけることを日課に す るほか、年2回、バスを利用して 花 見学など遠出を再開している。コ ロ ナ前はご家族やボランティアの方 も 一緒に出掛けていた。	年2回のバス旅行は継続し、コ ロ ナ感染症の状況をみながら、ご 家 族の参加を再開する。		<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり畑に行ったこと嬉しそうに話してくれました。 ・買い物に行ったことはあまり聞いたことがない。バス旅行、または家族も一緒に行けるとよい。 ・コロナ禍で外出が難しかったが、近場やバス旅行も再開されている。状況に応じ参加者や活動範囲を広げていけるとよい。 ・再開を願う。
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つことの 大 切さを理解しており、一人ひとり の 希望や力に応じて、お金を所持 し たり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出した時には、ご家族から預 か ったお小遣いを、お渡しして欲 し いものを、選んで購入できるように し ている。少額でも安心感につな が る方には、紛失の了解を得て所 持 してもらっている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話したい希望がある時は、子機電話を渡すことや、職員がお繋ぎすることや、電話やビデオ通話がかかって時には、ご様子をお伝えすることや会話の取次ぎをしている。また手紙や宅配物が届いた時は、お渡しした後、お礼などの電話を取り次いでいる。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	匂いや室温が良い状態を保つように、天窓を日中には開けることや、時間ごとの換気に心掛けている。また、各居室に湿温度計を置き、確認しながら適温を保っている。元のご家族の方が届けてくださるパッチワーク壁掛けやタペストリーを、四季ごとに共有スペースに掲げ、心地よく温かみのある空間にしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングで、他の入居者の方との会話をしたい時、同じTVを共有したい時はリビングで過ごし、1人居室で過ごしたい時は、意向に沿って過ごしている。また、行事の時のおやつの内容や、お誕生日の時にはどんなことをして過ごしたいかなどを、一緒に話合うようにしている		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からの情報だけでなく、昔からの友人ご夫妻や義妹様が面会に来られた時にも、これまでの関係性や思い出などをお聞きし、会話の様子などを見てケアに役立てることに心がけている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師の他、看護師やリハビリ職、歯科衛生士など多職種と日々の状態を共有しながら、体調変化があった時は、いち早く医療の必要性があるか否かを主治医に報告し指示をもらうようにしている。健康診断や定期的		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

				な血液検査により栄養状態の把握に努めて管理栄養士などから指導を受けている。感染症予防に努め、コロナ発生した場合は速やかに基準に沿って対応している。			
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩が習慣であった方は、ご近所に散歩に出かけることを一緒に行い、新聞に毎朝目を通すことや、栄養サプリを飲む習慣のあった方は、継続して生活されている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との写真、手紙やこれまでに書かれた俳画や作品などを居室に掲げることや読み慣れた書物を手元に置くこと、自分で縫われた衣服など着てもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	生活の継続性						
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	フードコートで食べたいものがある時、髪染めやパーマを美容院でしたい時、地域での夏祭りなどの行事に出かけていた時期もあったが、コロナで閉ざされてしまった。現在は嗜好品の買い物や散歩など、近隣で密にならない場所への外出を行っている。	ご本人の意向や希望を伝えられない方も多いが、表情を観察しながら希望に添えるようにしていく。スタッフとの買い物や散歩も継続していく。		・面会に行くと髪がきちんと整えられていたりしているので美容院に行っていないがかわいく切ってもらったようすが感じられている。話すことはないが多分本人も嬉しく思っていると感じている ・あまり自分の意志がないので提案して頂いての返答待ちでお願いします。 ・職員の方の付き添いでの外出は大変だと思う。家族でもできるだけ外出できるようにしたい。 ・それぞれの方の希望に沿って外出することは難しい状況であるが感染対策として少しずつ活動範囲を広げていけるとよい。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はセンター方式アセスメントシートを用い、一人一人の入居者の方の状態を観察し、ケアに繋げることを話あい、実践している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	行事やボランティアの方の訪問や、子供たちとの交流の場面は、普段以上に笑顔が引き出され、活気に溢れる暮らしができていた。現在はまだ制限がある中に、職員は日常的な会		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	

				話で楽しみが持てるようなことに心がけている。			
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の保育園児や中学生の職場体験などの交流を長年行ってきたが、感染予防対策に留意した中で、再開し継続できる計画をしている。	幼保園との交流をコロナ感染症の状況確認しながら再開する。		<ul style="list-style-type: none"> ・地区センターまつりへ作品を出展し見に行くことで交流を図っていけるとよい。 ・保育園の見学等できるとよい。フェンス越しに見るだけでもよい。 ・子供は好きなので喜ぶと思います。 ・これからの生活の中で交流することがあれば、きっと楽しいと思う。 ・再開求む。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、ご本人へ親しみや安心を与えるようなコミュニケーションやケアを行うよう、日々心がけており、不安や不満につながる状態になった時には、ご家族や関係機関の多職種と話し合い、それぞれのご本人にとってより良い暮らしはどういうことなのかを一緒に考え、それに向けて実践している。	親しみや安心を与えられるようなケアが出来るよう、ケア委員(各ユニットリーダー)中心に話し合い、研修を継続していく。ご本人の意向に添い、より良い生活を送ることができるよう、ご家族や関係機関と話し合いを密にしていく。	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人が親しみをもち安心した気持ちで過ごせるよう支援されている。ご本人にとってよりよい生活となるよう家族や施設を含めて考えていけるとよい。 ・いつも職員の方が明るく気楽に会話して下さり大変ありがたく思っています。本人への言葉かけも上手に促したりして下さり、本人も安心できていると思います。 ・本人曰く「みんな優しいし楽しく過ごしている」何よりありがたい言葉です。 ・家に帰りたいと話すこともあるが、母にとって今の生活がベストなことだと信じている。安全な場所で穏やかな生活を送ることができている。 ・職員のみなさまの心のゆとりが入居者のみなさまにも大切なのだと・・・。 ・コロナの感染症などで大変な事が多いと思います。しらずしらずにストレスがかえたりとみなさまに心の栄養がいきわたりますように。